

《週報》

第12巻第27号

第27週(7月2日~7月8日)

発行年月日:平成24年(2012年)7月11日
発行:滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター[†]
電話:077-537-7438 FAX:077-537-5548

今週の感染症発生動向

- ◆ 腸管出血性大腸菌感染症多発警報の発令(本年度3回目)
- ◆ ヘルパンギーナは増加傾向、急性出血性結膜炎は急増

★一類～五類全数報告感染症の発生状況(第27週)

- ・一類感染症---報告はありません
- ・二類感染症---結核 6名
- ・三類感染症---報告はありません
- ・四類感染症---報告はありません
- ・五類感染症---劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1名

* 第26週に届出のあった梅毒1名は、届出基準を満たさなかったため取り下げされました。

腸管出血性大腸菌感染症の発生については、「滋賀県腸管出血性大腸菌感染症多発警報発令要領」(平成20年8月18日施行、平成24年4月1日一部改正)に基づき、7月11日(水)に本年度3回目の警報(発令基準②に該当)が発令されました。発令期間は、平成24年7月11日(水)から平成24年7月22(日)までです

★定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(先週との比較、定点当たり患者数)

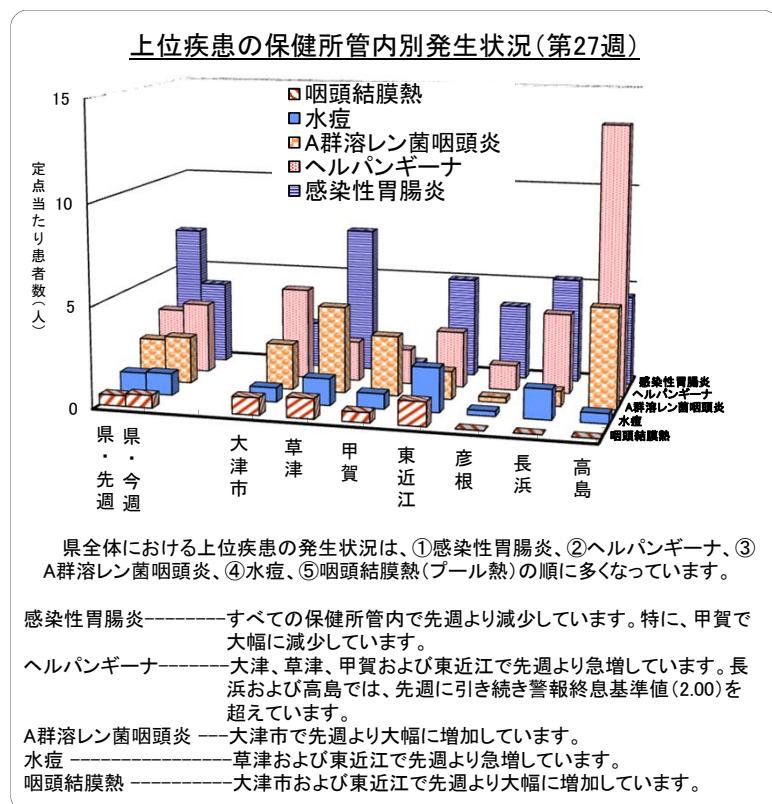
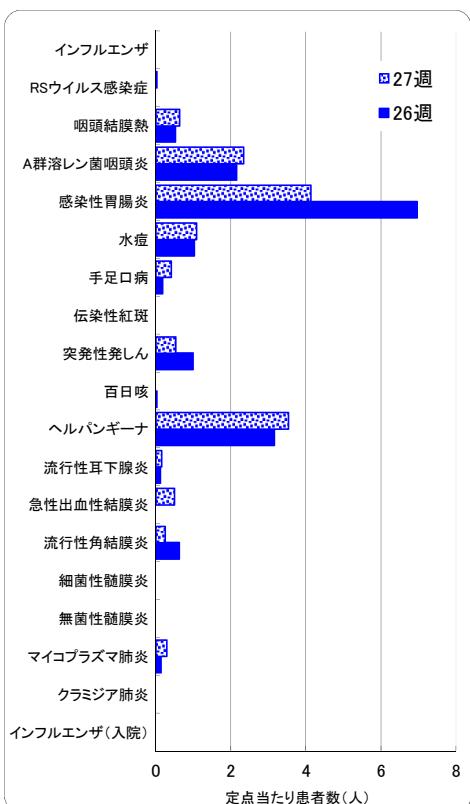
下記グラフに示す19疾患の患者報告数は、先週(492名)より減少し、今週は419名となっています。今週、増加した疾患は咽頭結膜熱(プール熱)、ヘルパンギーナ、急性出血性結膜炎等で、特に急性出血性結膜炎は大津市保健所管内で多くなっています。減少した疾患は感染性胃腸炎、突発性発しん、百日咳および流行性角結膜炎です(週別発生状況については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

また、インフルエンザ入院サーベイランスにおける、インフルエンザの入院患者の届出はありませんでした。

「感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム」によると、警報および注意報の発生基準値を超えている疾患および保健所管内は下記のとおりです。

警報----ヘルパンギーナ (警報開始基準値 6.00、警報終息基準値 2.00)
急性出血性結膜炎 (警報開始基準値 1.00、警報終息基準値 0.10)

長浜および高島保健所管内
大津市保健所管内



1. 全数報告感染症(一類～五類)の累積報告数

滋賀県内の医療機関において、感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断した医師は、保健所に届出ることになります。このことを全数報告といい、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症等を把握することができます。

感染症類型	疾患名	平成24年累積報告数		平成23年累積報告数 ^(*1)		平成22年累積報告数 ^(*2)	
		滋賀 (27週)	全国 ^(*3) (26週注)	滋賀	全国 ^(*3)	滋賀	全国 ^(*3)
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	139	14,282	338	31,467	251	26,866
三類感染症	コレラ	0	2	0	12	0	11
	細菌性赤痢	0	104	5	299	2	235
	腸管出血性大腸菌感染症	16	914	71	3,938	66	4,134
	パラチフス	0	10	0	23	1	21
四類感染症	E型肝炎	0	72	0	61	0	66
	A型肝炎	1	104	0	176	3	347
	オウム病	0	4	0	13	1	11
	つつが虫病	1	174	1	461	2	407
	デング熱	0	62	1	104	2	244
	マラリア	2	35	0	78	0	73
	レジオネラ症	2	375	12	819	10	751
五類感染症	アメーバ赤痢	7	406	2	814	7	843
	ウィルス性肝炎	0	110	1	249	3	221
	急性脳炎	3	218	1	259	0	242
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	89	2	136	2	172
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	143	2	198	3	122
	後天性免疫不全症候群	4	662	6	1,523	1	1,553
	ジアルジア症	1	28	1	68	1	77
	梅毒	0	412	6	827	9	621
	破傷風	0	47	1	114	0	106
	パンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	41	0	73	2	120
	風しん	5	492	2	374	5	87
	麻しん	2	169	1	443	1	447
動物の感染症	細菌性赤痢(サル)	0	1	9	37	0	59

注：27週の全国累積報告数については、次週の滋賀県感染症情報(SIDR)に掲載します。

* 1: 感染症発生動向調査事業年報暫定数(国立感染症研究所感染症情報センター、平成24年3月現在)。

* 2: 感染症発生動向調査事業年報確定数(国立感染症研究所感染症情報センター、平成24年3月)。

* 3: 全国の累積報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています(国立感染症研究所感染症情報センター提供資料参照)。

2. 定点把握の対象となる五類感染症の週別および保健所管内別発生状況

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症の発生状況を示します。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一ヵ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです。
(患者報告数 = 定点当たり患者数 × 定点数)

(1) 疾病別・週別発生状況(平成24年第22週～27週、5/28～7/8)

定点区分	定点数	疾患名	定点当たり患者数(前週より増加 前週と同じ 前週より減少)										
			22週	23週	24週	25週	26週	27週	週				
			5/28～	6/4～	6/11～	6/18～	6/25～	7/2～	23	24	25	26	27
インフルエンザ	53	インフルエンザ	0.15	0.09	0.11	0.04	0	0					
小児科	32	RSウイルス感染症	0	0.03	0	0	0	0.03					
		咽頭結膜熱(ブルー熱)	0.31	0.41	0.38	0.44	0.53	0.63					
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.16	2.78	3.09	2.03	2.16	2.34					
		感染性胃腸炎	10.63	8.81	9.28	6.63	6.97	4.13					
		水痘	1.94	1.16	1.50	1.28	1.03	1.09					
		手足口病	0.28	0.31	0.28	0.13	0.19	0.41					
		伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0	0	0.03	0	0					
		突発性発しん	0.69	0.47	0.59	0.91	1.00	0.53					
		百日咳	0	0	0.06	0.13	0.03	0					
眼科	8	ヘルパンギーナ	0.72	0.69	0.41	1.66	3.16	3.53					
		流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.25	0.22	0.19	0.38	0.13	0.16					
基幹	7	急性出血性結膜炎	0	0.25	0	0.13	0	0.50					
		流行性角結膜炎	0.50	1.25	0.63	0.13	0.63	0.25					
	7	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0					
		無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0					
		マイコプラズマ肺炎	1.00	0.43	0.71	0.43	0.14	0.29					
		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0					
		インフルエンザ(入院)*	0.14	0	0	0	0	0					

* : 平成23年9月5日からインフルエンザ入院サーベイランスが開始されたことに伴い、基幹定点からの報告数(定点当たり患者数)を掲載

(2) 疾病別・保健所管内別発生状況(第27週、7/2~7/8)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)							疾患別発生状況(県)	
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	
RSウイルス感染症	0.03	0	0	0	0.20	0	0	0	
咽頭結膜熱(ブルー熱)	0.63	0.86	1.00	0.50	1.20	0	0	0	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.34	2.29	4.33	3.00	1.40	0.25	0.75	5.00	2
感染性胃腸炎	4.13	2.29	7.33	0.50	5.00	3.75	5.25	4.50	4
水痘	1.09	0.71	1.33	0.75	2.20	0.25	1.50	0.50	1
手足口病	0.41	0.14	0.33	0	0.60	0.25	0	3.00	1
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0	0	0	0	0	0	0	
突発性発しん	0.53	1.43	0.17	0.50	0.60	0.25	0	0	1
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	3.53	4.57	2.00	1.75	2.80	1.25	4.00	13.50	3
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.16	0.29	0.17	0.50	0	0	0	0	1
急性出血性結膜炎	0.50	2.00	0	0	0	0	0	0	1
流行性角結膜炎	0.25	0	0	1.00	0	0	0	1.00	1
細菌性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.29	1.00	0	0	0	0	1.00	0	1
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
インフルエンザ(入院)	0	0	0	0	0	0	0	0	

赤・太字

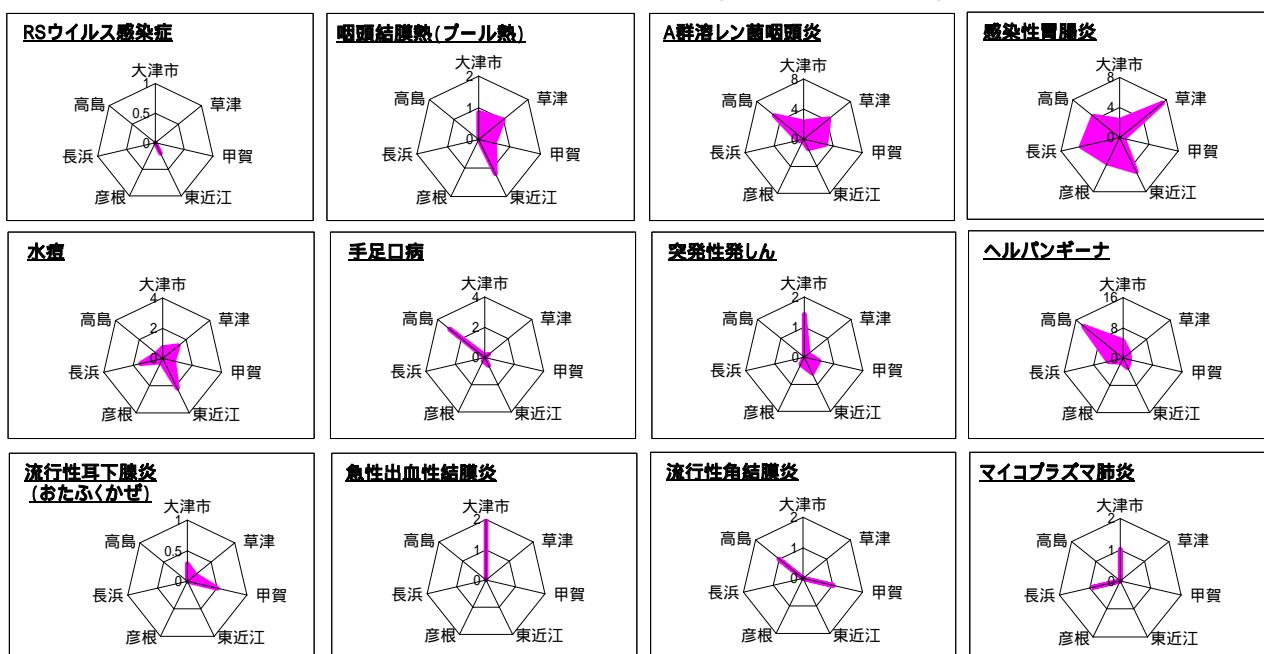
は警報発生基準値(開始基準値または終息基準値)を超えています。

青緑・太字

は注意報発生基準値を超えています。

0 2 4 6
定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



(3) 今週の発生状況

<インフルエンザ> 先週に引き続きすべての保健所管内から報告されていません。
 <手足口病> 県全体では先週の約2倍増となっています。甲賀および長浜保健所管内以外から報告されています。
 <急性出血性結膜炎> 第23週および第25週と同様、大津市保健所管内からのみの報告です。

3. その他

(1) 症候群サーベイランスにおける疑似症定点からの報告

第27週に大津市保健所管内の疑似症定点から、「発熱及び発しん又は水痘」で3件の届出がありました。年齢は0歳1名、4~5歳2名で、性別はすべて男性です。

症候群サーベイランスの目的は、症状の集積をモニターすることにより、未知あるいは稀な感染症を早期に探し、感染症の拡大および予防に役立てようすることです。現在は、疑似症定点により疑似症の把握を行っています。

厚生労働省令で定める疑似症は、1)摂氏38度以上の発熱及び呼吸器症状(明らかな外傷又は器質的疾患に起因するものを除く。)

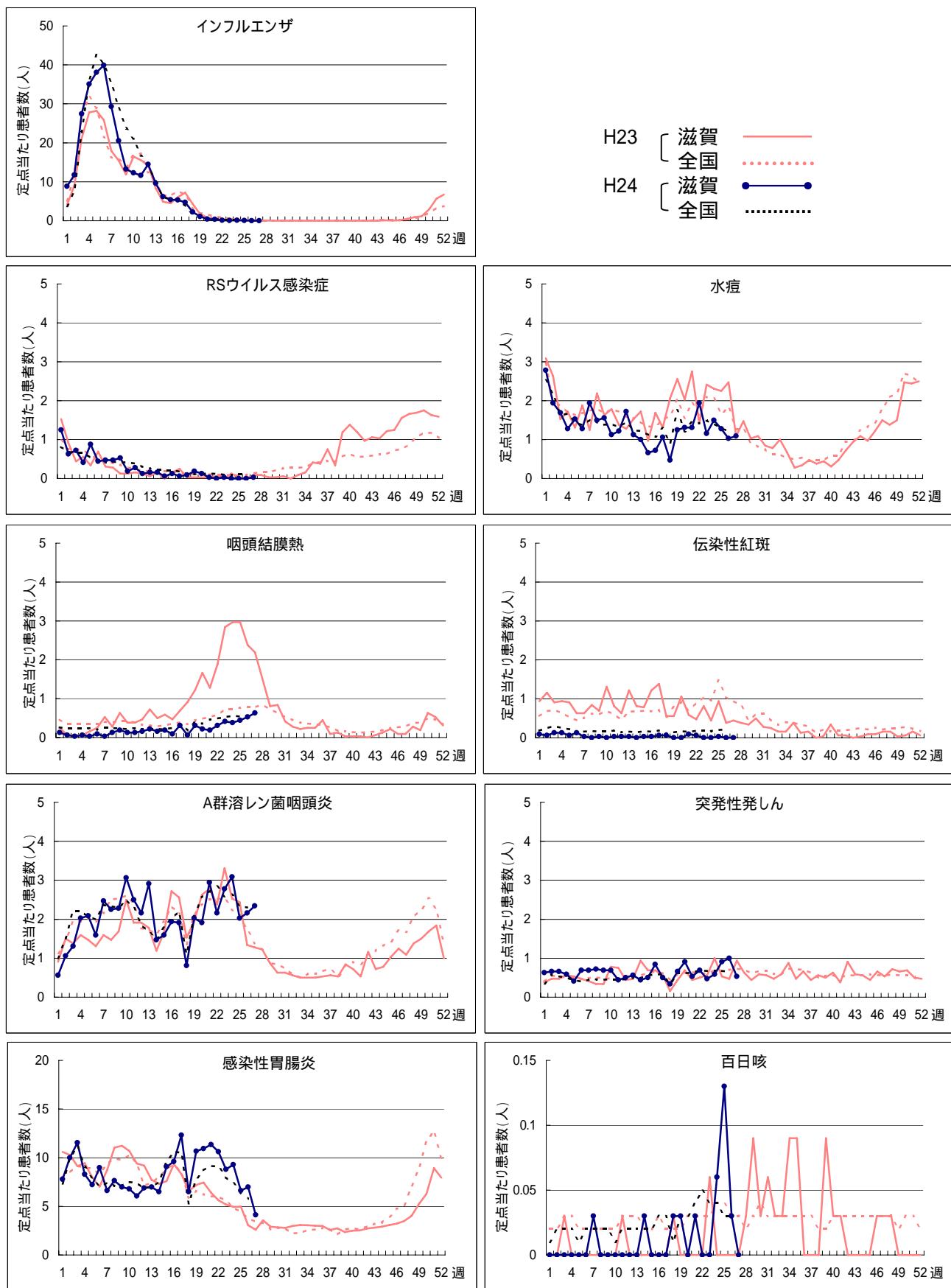
2)発熱及び発しん又は水痘

です。定義および届出基準の詳細については、医師及び指定届出機関の管理者が都道府県知事に届け出る基準参照(<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekakku-kansenshou11/pdf/01a.pdf>)

(2) 腸管出血性大腸菌感染症の発生状況

平成24年7月11日現在の届出数は19名で、男性13名、女性6名です。診断の類型は患者14名、無症状病原体保有者5名です。血清型・毒素型はO157・VT1&VT2 7名、O157・VT2 4名、O145・VT2 1名、O145・VT不明1名、O26・VT1 6名です。年齢は0~9歳9名、20~29歳2名、30~39歳2名、40~49歳1名、50~59歳3名、60~69歳1名、60歳以上1名です。届出保健所管内別では大津市5名、草津10名、東近江3名、彦根1名です。

疾病別定点当たり患者数(平成24年第27週、H24.1.2～H24.7.8)



[トップページに戻る](#)

疾病別定点当たり患者数
(平成24年第27週、H24.1.2～H24.7.8)

H23 滋賀 全国
H24 滋賀 全国

